

TRI GROUP

2013年度上期 決算説明資料

2013年11月13日

東海ゴム工業株式会社

TRIグループ 2013年度 上期業績

TOKAI RUBBER INDUSTRIES, LTD.



①経済情勢

欧 米

米国は個人消費の拡大が続き景気回復基調
欧州は債務問題に伴う信用不安が依然続く

日 本

国内経済は金融緩和政策による円安・株価上昇などがあり、緩やかな景気回復の兆し

新興国

中国やインドで経済成長ペースが鈍化、不透明感ある状態が続く

②事業環境

自動車用品
部 門

欧州市場の低迷は続くものの、北米・中国を中心に自動車生産台数は増加基調
(昨年度からの領土問題に端を発した中国での販売減は概ね回復基調)
国内はエコカー補助金終了の反動減は限定的であったものの、前年比生産減少

一般産業用品
部 門

プリンター用機能部品は12年度で需要低迷底打ちも、欧州市場の停滞影響を受ける
建機向け高圧ホースは、国内需要は緩やかに回復である一方、中国での需要は本格回復には遠い

原料価格

天然ゴムは昨年度価格よりは値下がり、合成ゴムはナフサ連動で上昇

為 替

年初予想より若干の対ドル円安で推移

(単位：億円)	12年上期	13年上期	13年上期	前年同期比	
	実績	予想	実績	増減	増減率
既存	1,328	1,400	1,457	+129	+9.7%
M&A	-	300	288	+288	-
売上高	1,328	1,700	1,745	+417	+31.4%
営業利益	3.8% 50	2.4% 40	2.7% 47	-4	-7.3%
経常利益	3.7% 49	1.8% 30	1.9% 33	-16	-33.1%
特別損益	0	0	25	+25	-
当期利益	2.1% 28	0.3% 5	0.8% 14	-14	-49.6%

為替レート (円/\$)

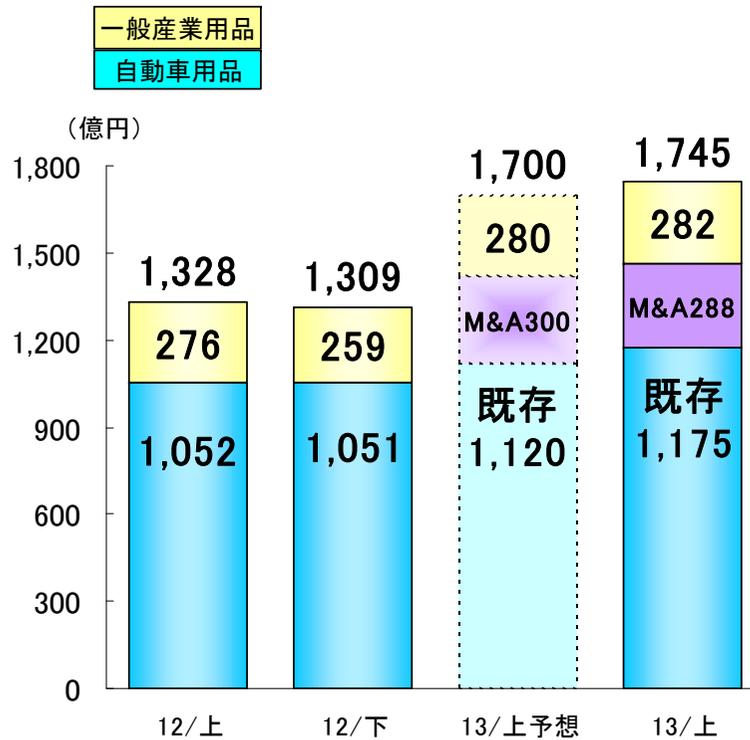
<79.42>

<95.00>

<98.86>

<19.44円安>

売上高

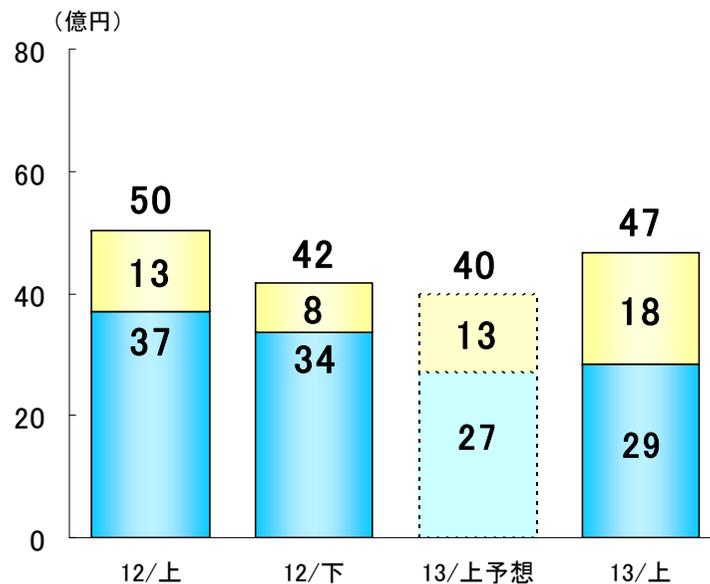


【自動車用品部門】

既存事業は、国内生産台数は前年比減少したものの、米国を中心に海外生産増で増収。

M&A会社は、欧州子会社の景気後退影響などあり、年初予想より下振れ。

営業利益



【一般産業用品部門】

プリンター向け機能部品は、販売面では増加幅が少ないが、生産拠点集約の構造改革効果が寄与。

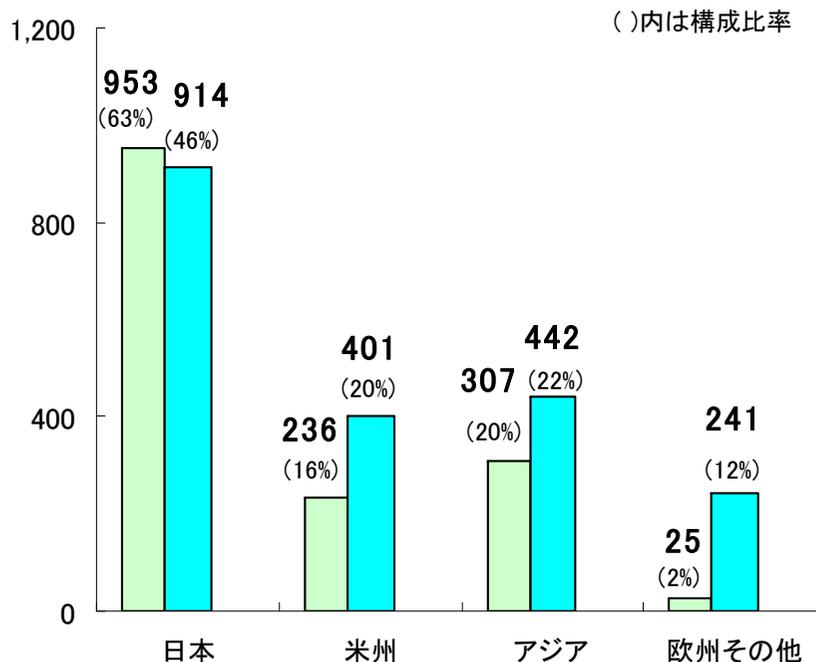
建機向け高圧ホースの需要は国内で緩やかに回復、中国需要は依然本格回復ではない。

□ 12年上 □ 13年上

地域間消去前

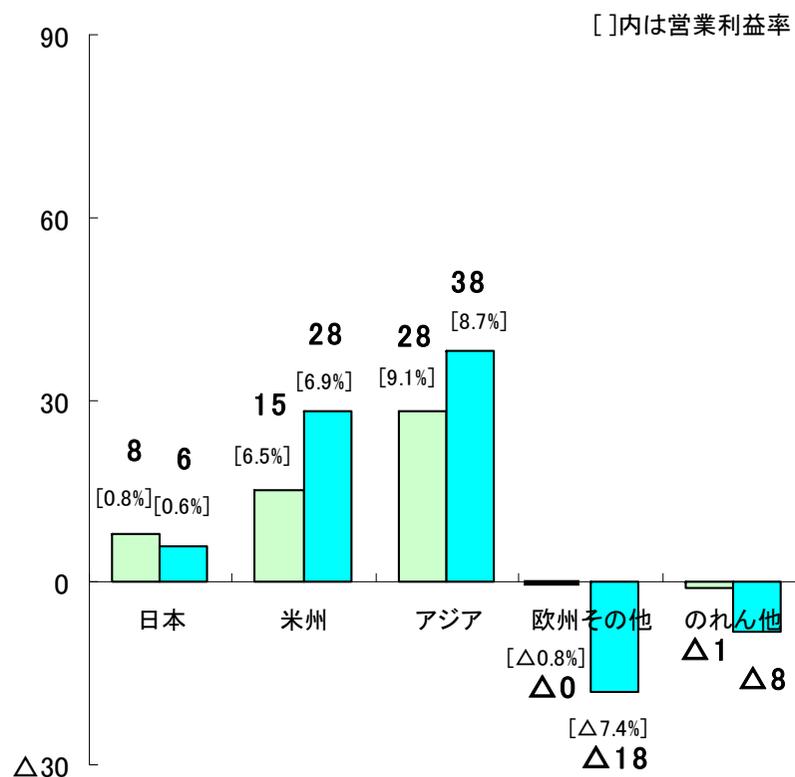
売上高

単位：億円



営業利益

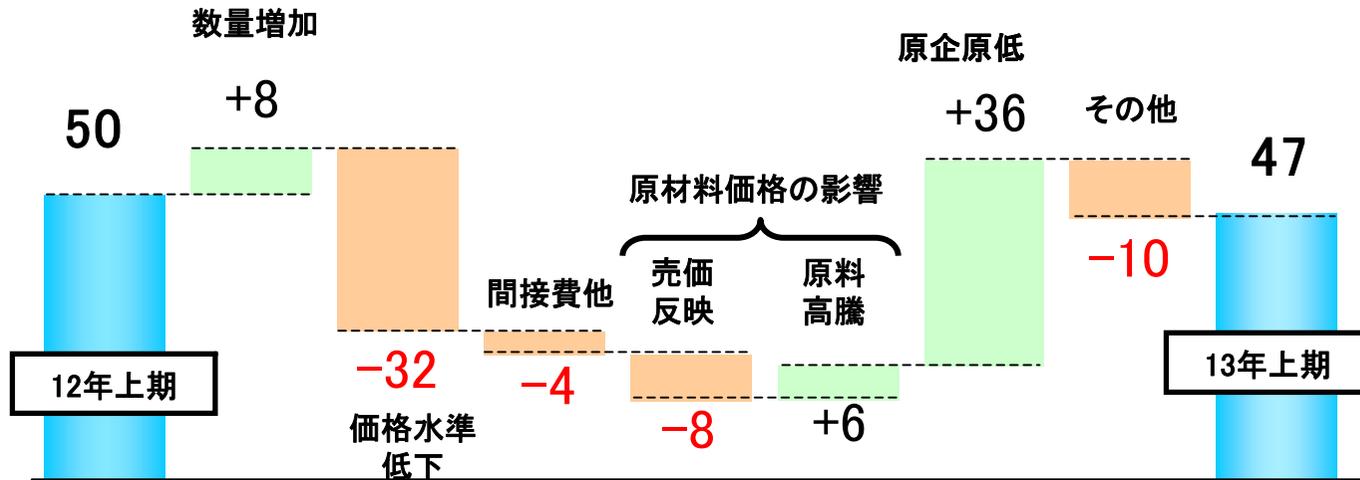
単位：億円



今般、世界四極体制が整ったことから今期第1Qより以下の通り変更しております。
 <変更内容> 日本：変更なし、米州：米国・メキシコ・ブラジルなど、アジア：中国・タイ・インド・インドネシアなど、
 欧州その他：ポーランド・イタリア・ドイツ・トルコ・チュニジアなど

前年同期比

(単位:億円)



TRIグループ 2013年度 見通し

TOKAI RUBBER INDUSTRIES, LTD.



(単位：億円)	12年 実績	13年 年初予想	13年 修正予想	前年度比	
				増減	増減率
既存	2,637	2,900	2,970	+333	+12.6%
M&A	-	700	680	+680	-
売上高	2,637	3,600	3,650	+1,013	+38.4%
営業利益	3.5% 92	3.3% 120	3.6% 130	+38	+41.2%
経常利益	3.5% 92	3.1% 110	2.9% 105	+13	+13.8%
特別損益	△11	0	25	+36	-
当期利益	1.1% 30	1.4% 50	1.1% 40	+10	+33.2%
為替レート (円/\$)	<83.11>	<95.00>	<98.43>	<15.32円安>	

①経済情勢

- ・欧州は景気低迷が続くが、先進国は米国・日本で景気回復進む
- ・新興国は、経済成長スピードが鈍化するも一定の経済拡大が続く

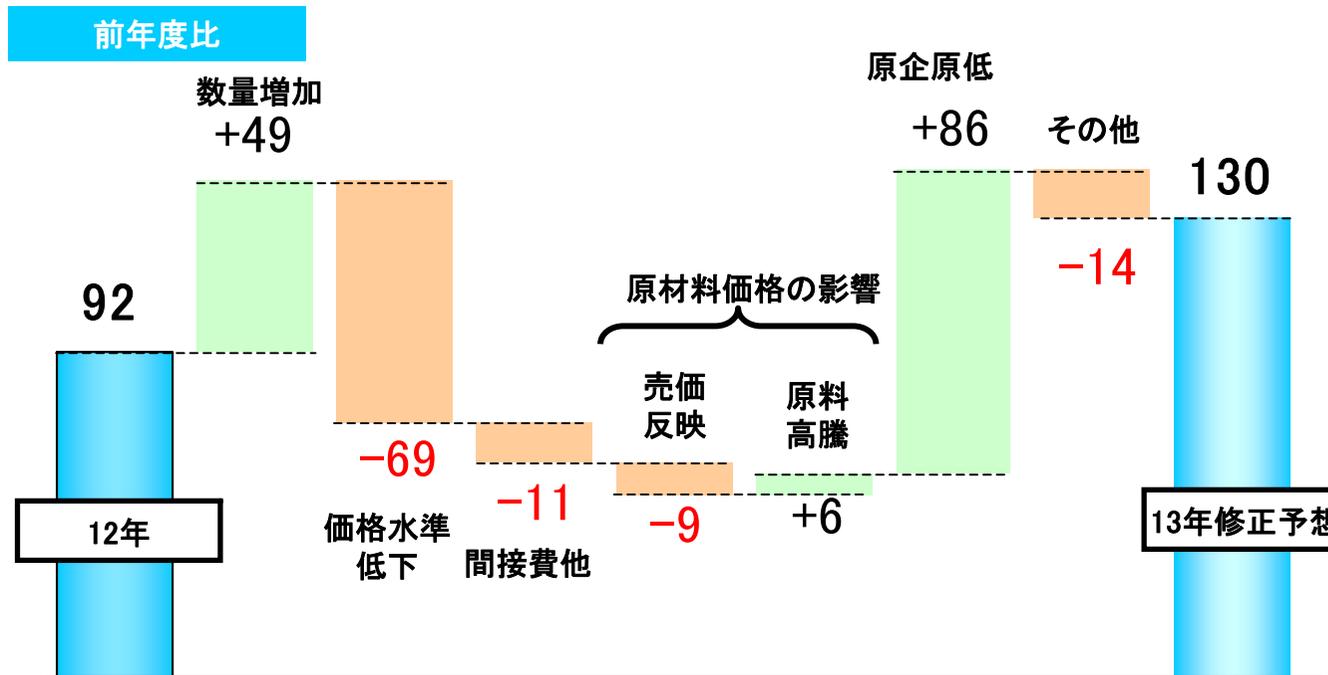
②事業環境

- ・日系カーメーカーの自動車生産は、北米を中心に海外で増産、下期は国内自動車生産台数も増加する見通し(消費増税の駆け込み需要など)
- ・欧州景気の低迷、中国での公共事業鈍化が響き、一般産業用品は上期レベル継続

原料価格・
為替

- ・天然ゴム価格は安定的に推移、合成ゴムは上昇基調続く
- ・為替は上期レベルの推移を予想

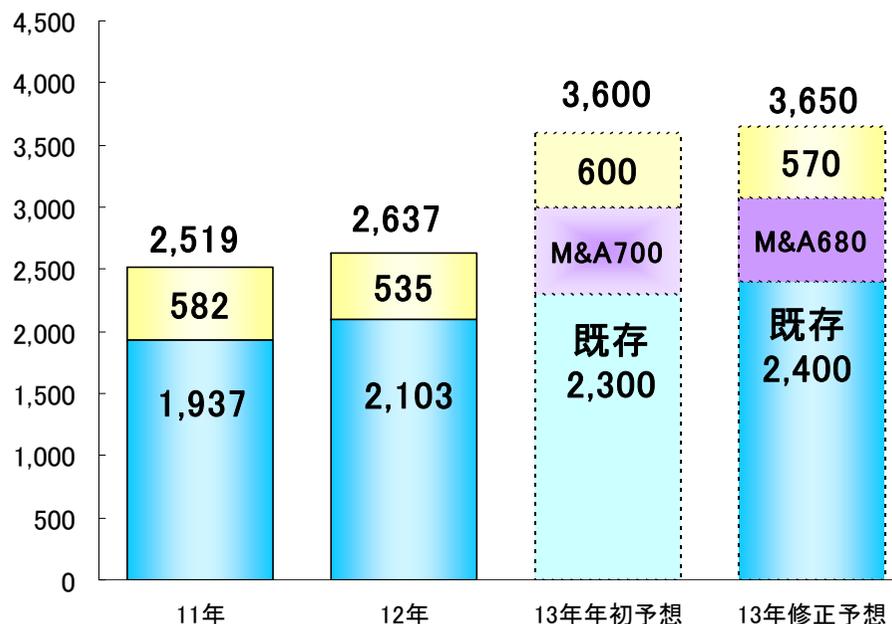
(単位:億円)



(億円)

一般産業用品
自動車用品

売上高

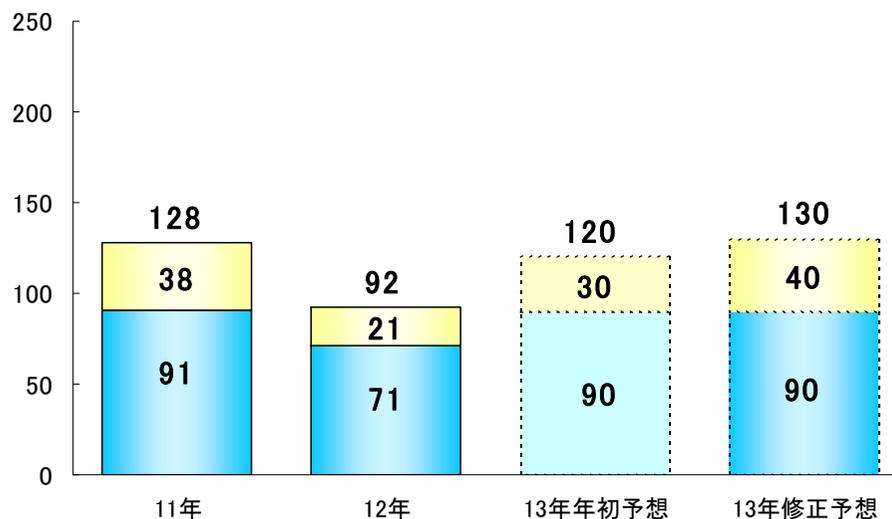


【自動車用品部門】

既存事業は、米国・中国などで日系カーメーカーの販売が伸びる。

M&A会社は、欧州景気後退の影響受け減収。

営業利益



【一般産業用品部門】

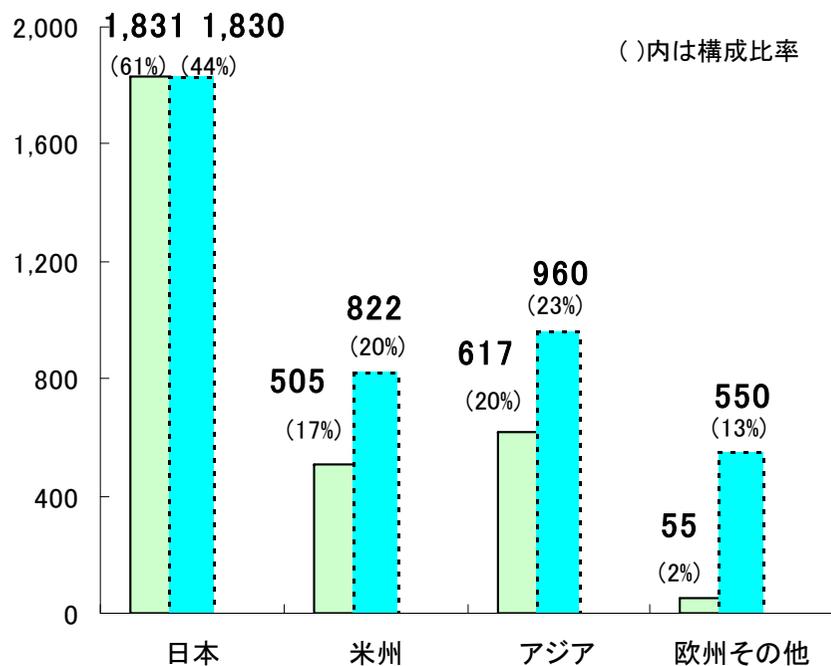
プリンター向け機能部品の需要は、緩やかに回復。建機向け高圧ホースの販売は中国での需要低迷が響くが、国内需要の増加で年間では増加。

□ 12年 ■ 13年修正予想

地域間消去前

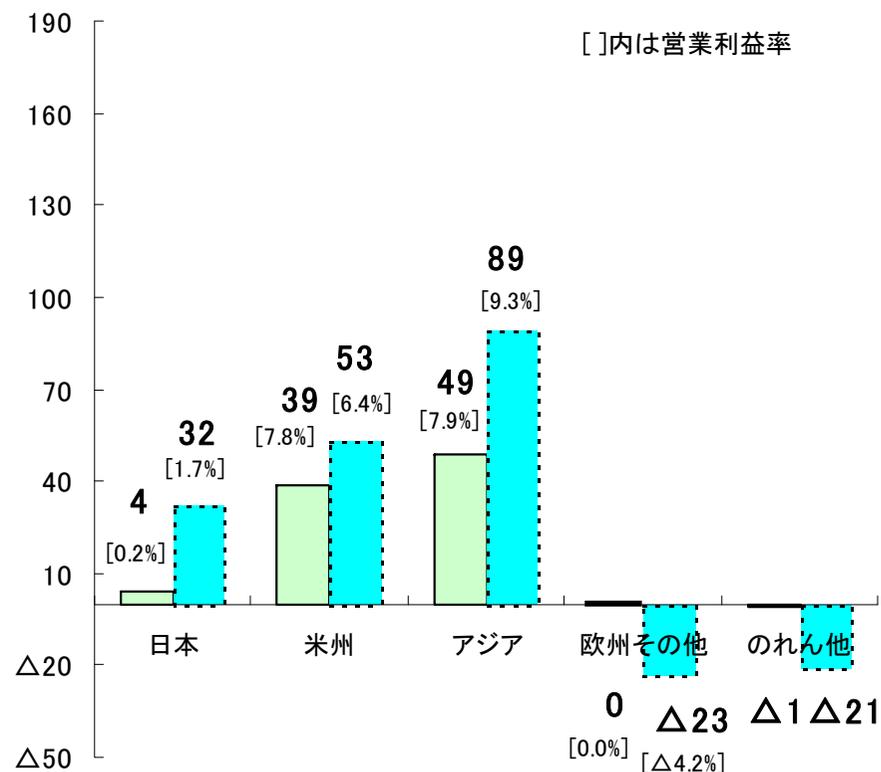
売上高

単位：億円



営業利益

単位：億円

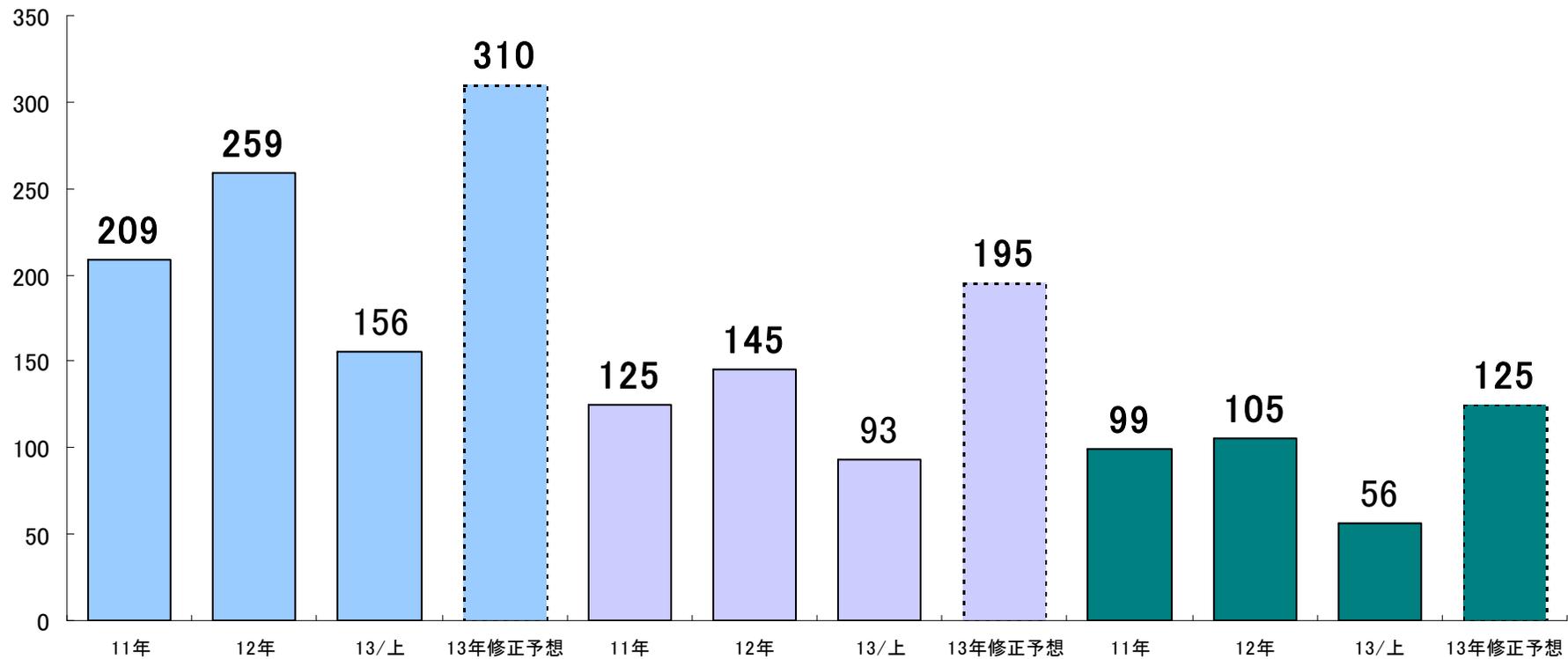


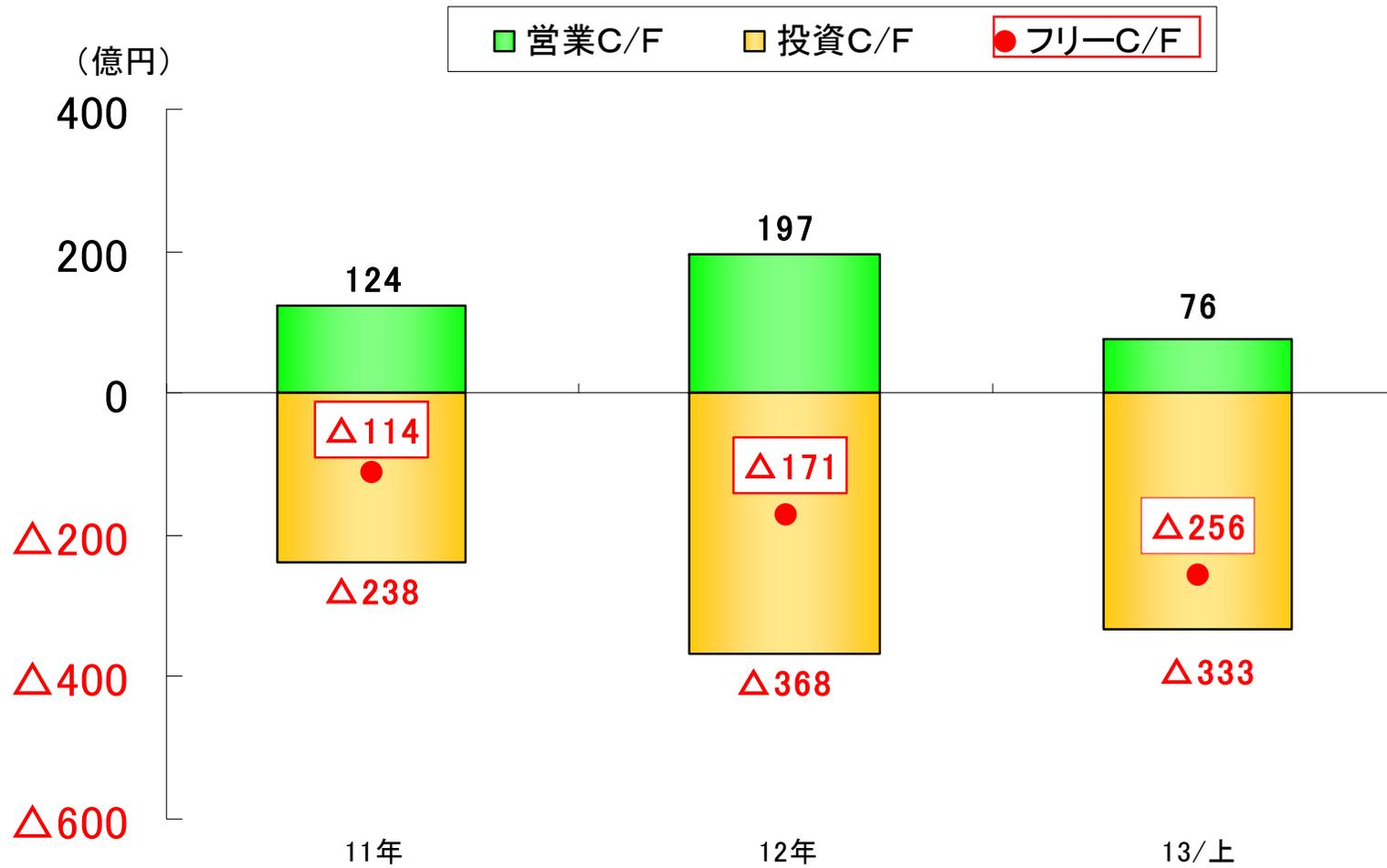
設備投資

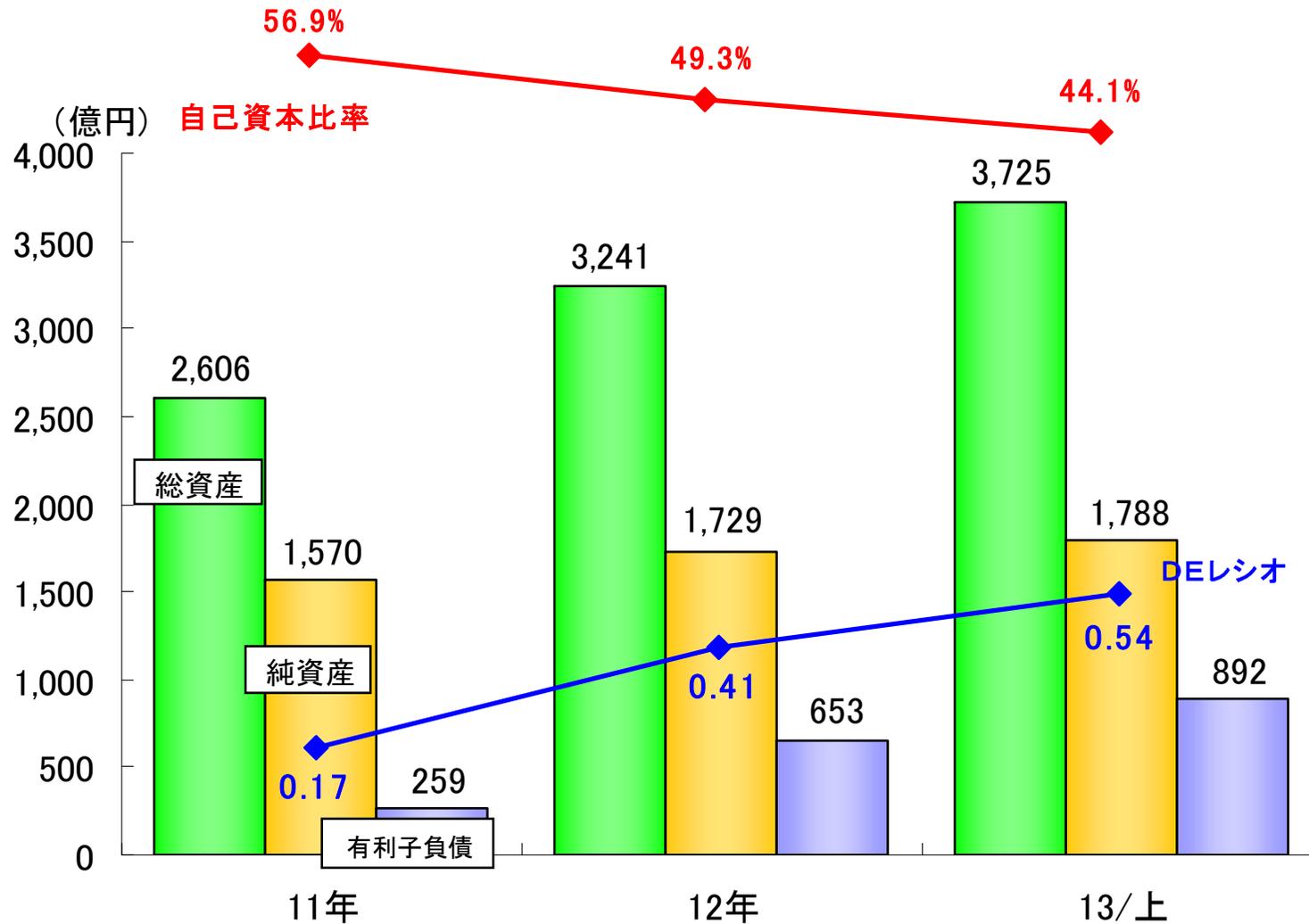
減価償却費

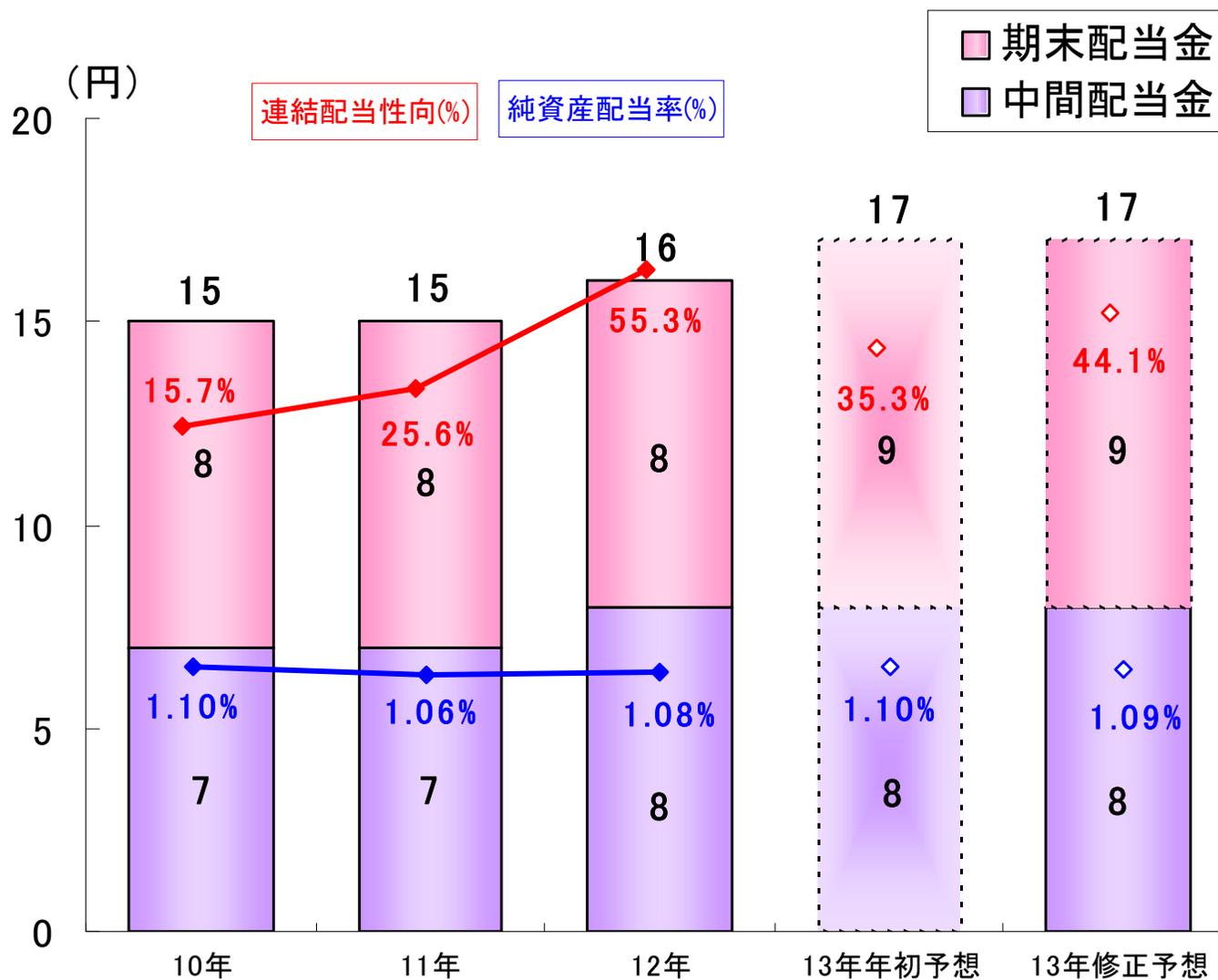
研究開発費

(億円)









2015VISION達成への取り組み

TOKAI RUBBER INDUSTRIES, LTD.

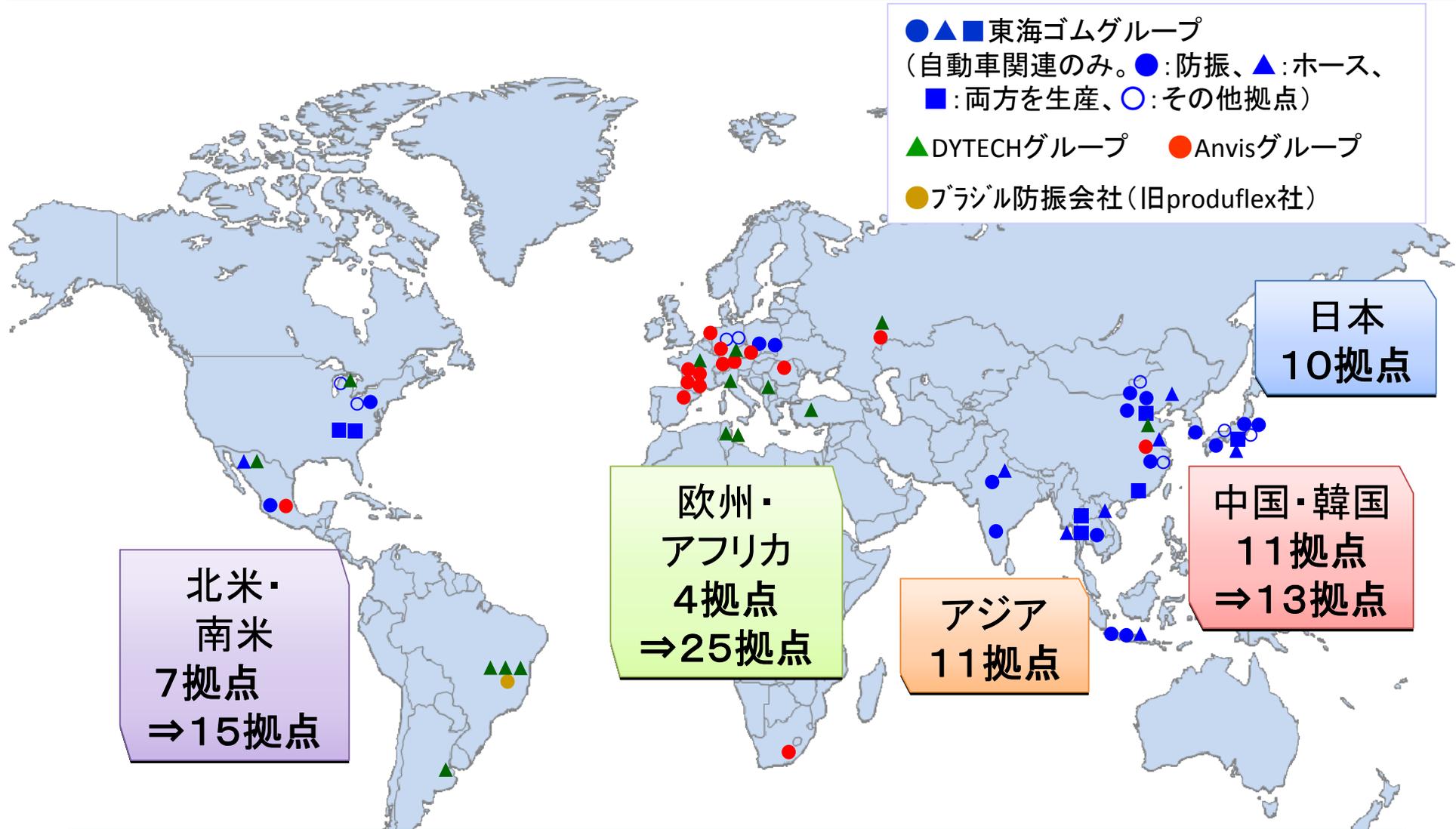


2015VISION “変革と成長” + “多様性”

2015VISION 売上数値目標

分野	2015年度 目標
自動車	2,850億円
ICT	650億円
インフラ	350億円
住環境	150億円
医療・介護・健康	150億円
資源・環境・エネルギー	50億円
連結売上高	4,200億円





M&A実施前：世界11カ国・43拠点 ⇒ M&A完了後：世界24カ国・74拠点

グローバル5極での製品供給補完体制が完成(グループ全体で102拠点)

この資料に記載されております売上高及び利益等の予想のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動、その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、例として以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・日本、米州、アジア、欧州その他および当社グループが事業活動を行っているその他の国における需要変動
- ・米ドル、アジア・欧州諸国などの各通貨の為替相場の変動
- ・天然ゴムや合成ゴムなどのゴム材料や鋼材などの原材料価格の変動
- ・諸外国における予期せぬ法律や規制の変更、政治・経済状況の変化
- ・大規模な災害等の発生による当社グループ・仕入先・納入先等への影響

従いまして、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております予想とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。なお、当社グループは、この資料の本リリース後においても、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。



以上